

## やさしい心を育む

町教育委員会では5月8日、町花き組合の協力を得てポーチュラカやマリーゴールドなど4種類の花の苗1、250鉢を16行政区の子ども会へ配布しました。

この活動は「花いっぱい運動」の一環で、花づくりを通じてやさしい心を育むことを目標に毎年実施しています。

神社境内に植えた矢島子ども会の子どもたちは「自分が植えた花が、学校帰りにきれいに咲いているのを見ると嬉しい」と話していました。

### 子ども会育成会



## サッカーで友情深める

館林市と山形県上山市のサッカー少年たちが親善と友情の輪を広げる「少年サッカー交流大会」が3日から4日までの2日間、館林市の青少年広場サッカー場で開かれ、本町の明和FCを含め各5チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

この大会は、館林市と明和町の選手の自宅にホームステイをしながら交流を深め、春は館林市で、秋は山形県上山市で毎年行われています。なお、明和FCは3位でした。

### 少年サッカー交流大会



## 交通ルールを守る大切さ

高齢者の学習の機会を広げ、その年齢にふさわしい知識や技能を習得し、豊かで楽しい、生き甲斐のある生活が送れるよう「寿学級」が今年度も5月27日、中央公民館で始まりました。

開講式終了後、館林警察署交通課の本澤さんを講師に招いて、「しっかりと交通安全」と題して、一時停止や、わき見運転などの事例を交えながら講演会が行われ、参加者44人は交通ルールを守る大切さを学びました。

### 寿学級

